

平成23年度 都公連委員部会 第3回 研修会（報告）

1. 日時 平成24年3月3日（土） 午後1時30分～4時
2. 場所 国分寺市立本多公民館
3. 出席者 約40名、東村山市：川村会長、鎌田委員、縣委員、倉田（記）
4. 講師 伊東 静一氏（元福生市公民館長、現福生市環境課長）
5. 講演テーマ：「公民館の事業評価について」、「公運審はどのように関わるのか」

1) なぜ、いま「評価」なのか

- ◆ 評価が求められる背景、何を評価しようとしているか、事業評価の目的と評価の視点

- 2003年「公民館の設置及び運営に関する基準」改定・・・第10条（事業の自己評価等）

「公民館は事業の水準の向上を図り、当該公民館の目的を達成するため各年度の事業の状況について、公民館運営審議会等の協力を得つつ、自ら点検及び評価を行い、その結果を地域住民に対して公表するよう努めるものとする」

- 2007年「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」一部改正

第27条教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等

「教育委員会は毎年その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに公表しなければならない。

2 教育委員会は前項の点検及び評価を行うにあたっては教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

- 2008年「社会教育法」の一部改正：公民館に対してPDCAを導入して運営状況を評価し改善を図る

第32条（公民館の運営の状況に関する評価等）；評価と共にその結果に基づき運営の改善を図る

第32条の2（公民館の運営状況に関する情報の提供等）：運営の状況に関する情報を積極的に提供する

2) 福生市の「公民館事業評価」の取り組み

- ◆ 「職員研修」としての評価の取り組み、事業の位置づけと方向性、三角錐モデル（別紙）

福生市の職員・・・3つの課題を討議： 指定管理者制度、公共性、事業評価

公民館の削減、核家族化、競争・格差社会、孤独・無縁社会など現状把握に時間がかかった。

事業評価；定性的な評価、定量的な評価、運営評価

3) 公運審委員の評価への参加

第三者評価が重要（中立な立場で）

*西東京市ではH23/4より公運審委員を事業評価委員としている。

*福生市では事業テーマが100程あり全テーマの事業評価ができない。

職員が3段階評価（継続、中止、変更）をしたものを館長が最終評価する。

4) 公民館評価の今後の課題

- ◆ 市民が参加する事業・運営評価システム作り、教育委員会評価の中に組み込まれる公民館評価システム作り、評価の活かし方

*福生市では過去に遡って「重要で決定的な体験（SLE）」を調査：評価にどう活かせるか

講座の参画時から計画、実施内容までシート記載の評価を行う。職員の記入方法がバラバラをなくす。

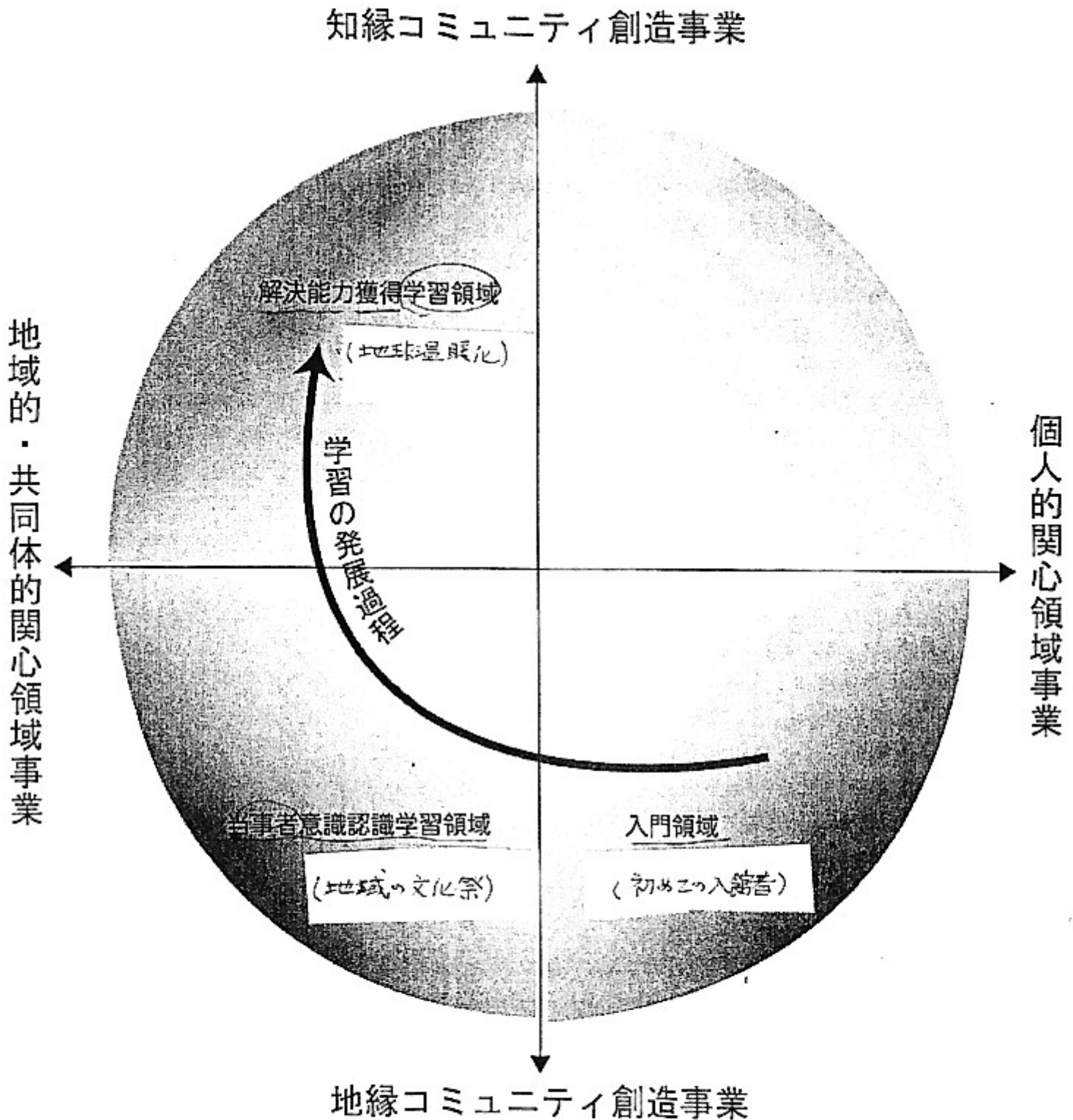
答申として教育委員会に提出（教育長まで報告）

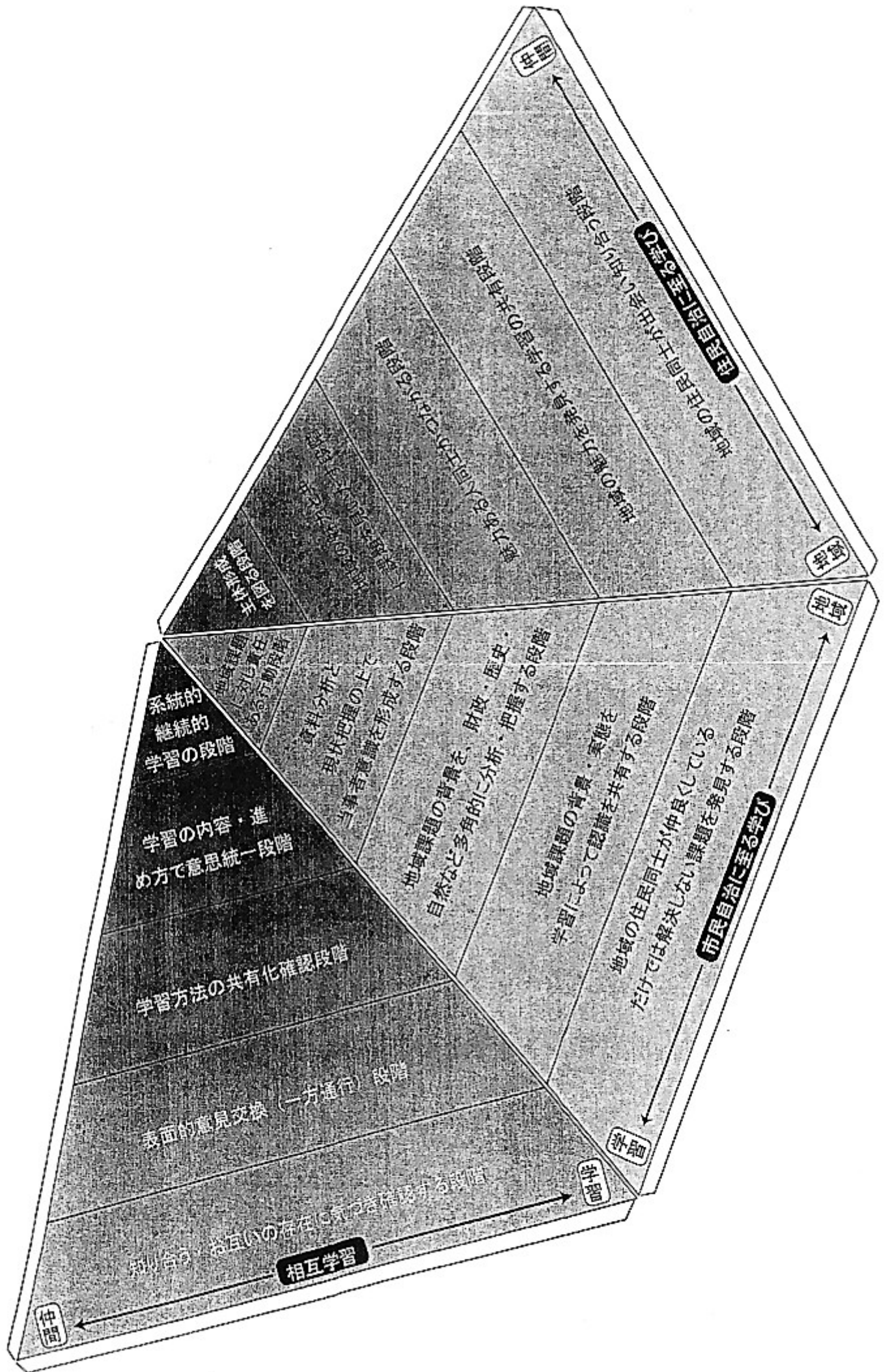
評価の活かし方：非定量化指標を事業に参加した人にインタビューで調査、

当該公民館の事業に対して意見を述べ、公表する。

主催事業の配置図

(2009 年度版)





仲間

市民

地域

地域

学習

仲間

市民自治に至る学び

市民自治に至る学び

相互学習

認知合致・お互いの存在に気づき確認する段階

表面的意見交換（一方通行）段階

学習方法の共有化確認段階

学習の内容・進め方で意思統一段階

系統的・継続的学習の段階

課題の共有
相互支援
主体的実践

資料分析と現状把握の上で
当事者意識を形成する段階

地域課題の背景を、財政・歴史・
自然など多角的に分析・把握する段階

地域課題の背景・実態を
学習によって認識を共有する段階

地域の住民同士が仲良くしている
だけでは解決しない課題を発見する段階

課題を共有し
主体的実践
相互支援
主体的実践

課題共有の
課題共有の
課題共有の
課題共有の
課題共有の
課題共有の
課題共有の
課題共有の
課題共有の

課題共有の
課題共有の
課題共有の
課題共有の
課題共有の
課題共有の
課題共有の
課題共有の
課題共有の

仲間

市民

地域

地域

学習

仲間

市民自治に至る学び

市民自治に至る学び

相互学習

認知合致・お互いの存在に気づき確認する段階

表面的意見交換（一方通行）段階

学習方法の共有化確認段階

学習の内容・進め方で意思統一段階

系統的・継続的学習の段階

課題の共有
相互支援
主体的実践

資料分析と現状把握の上で
当事者意識を形成する段階

地域課題の背景を、財政・歴史・
自然など多角的に分析・把握する段階

地域課題の背景・実態を
学習によって認識を共有する段階

地域の住民同士が仲良くしている
だけでは解決しない課題を発見する段階

課題を共有し
主体的実践
相互支援
主体的実践

課題共有の
課題共有の
課題共有の
課題共有の
課題共有の
課題共有の
課題共有の
課題共有の
課題共有の

課題共有の
課題共有の
課題共有の
課題共有の
課題共有の
課題共有の
課題共有の
課題共有の
課題共有の